佐伯印刷
株式会社

CORPORATE PROFILE

企画立案から制作まで一貫体制
細部にこだわる
“SAIKIクオリティ”を追求して

メディアの種類が増え、境界が不鮮明になった昨今、私たちは長年培ってきた印刷技術を軸に、紙からデジタルまで様々な媒体を駆使してお客様のご要望に沿った企画提案からコンテンツ制作まで常に効果的な表現を追求した“SAIKIクオリティ”でお客様の想いをカタチにして参ります。

代表挨拶　top message

印刷は情報の発信や保存の方法としての役割を担い、まさに「文化の下支え」と呼べる存在です。当社もこれまで鮮やかな印刷や正確な組版を追求してまいりましたが、デジタル技術の普及により情報発信の手段も多様化しています。

新しい時代に当社が社会のお役に立てることは何か。それはお客様が伝えたい情報を、より印象的に効果的に発信できることだと考えています。当社が作成するコンテンツを表現する方法は印刷に限りません。ウェブサイトや動画などのデジタルコンテンツも活用した新しい情報発信。印刷からスタートした会社だからこその総合的な情報発信サービスをご提供できるよう「創意工夫」の精神をもって取り組んでまいります。

佐伯印刷株式会社
代表取締役社長

平岩 照正

“SAIKIクオリティ”を実現する
佐伯印刷の
ONE-STOP SERVICE

「印刷」を取り巻く環境は大きく変化しています。
佐伯印刷では印刷物からデジタルコンテンツへの展開まで、お客様の訴求ポイントに合わせた企画・立案を行っています。そして、打合せを重ねながらデザイン・制作・編集を行い、製品を完成させていきます。
佐伯印刷のそれぞれのプロフェッショナルが一丸となり連携することで、お客様のニーズに応える“SAIKIクオリティ”を提供して参ります。

営 業

- 印刷全般
- デジタルコンテンツ全般

など

デジタル コンテンツ

- ホームページ（手続きサポート・更新サポート）
- 動画編集（デジタルサイネージ・AR）

など

企 画

- インバウンドプランニング
- マーケティング調査
- デジタルアーカイブ

など

ONE-STOP SERVICE

印刷製本

- 色調補正
- オフセット印刷
- オンデマンド印刷
- 製本
- 特殊加工

など

原稿作成

- 取材
- 執筆
- 写真撮影
- 動画撮影

など

制 作

- 編集・デザイン
- ブースデザイン（展示会）
- 校閲

など

企画

企画からデジタル、印刷まで
ワンストップで応える提案力。

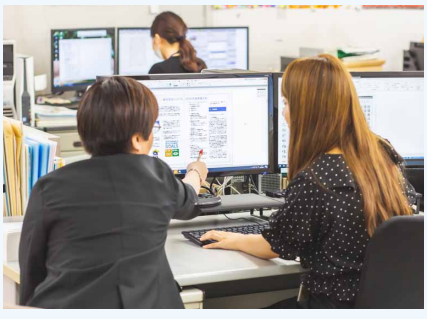
長年培った印刷技術はもとより、デジタル技術等の様々な媒体・手法を用いた効果的な表現を企画提案します。印刷物のプランニングから原稿の作成・取材・撮影まで一貫して行い、お客様の抱える問題や課題をワンストップで解決します。

情報発信の時期や方法、ターゲット設定などをお客様のご要望やご予算に合わせて、ご提案いたします。

制作・校閲

システムによる編集作業と
校閲者による人的作業で
多ページ紙面編集に対応。

日本語に強い国産文字組版編集機を使用し、文字量の多い書籍も、読みやすく、バランスの取れた誌面を短期間で仕上げます。また、校閲が最も難しいと言われる中央省庁が発行する白書制作の実績があり、専門の校閲スタッフによる誤字・脱字のチェックはもちろん、表現の間違い等にも配慮します。



学会抄録など、全国各地からの原稿を取りまとめるためには、独自に開発したWeb入稿システムを使用します。

色調補正・印刷・製本

カラー管理と再現力で、
高品質の仕上がりに。
小ロット、短納期、低コストにも対応。

お客様の求める仕上がりに近づけるため、熟練の専門スタッフが画像の色補正や加工等を行います。その色彩を忠実に再現すべく、印刷スタッフが直接「目」と「経験」で微調整を行い、より美しく仕上げます。
オンデマンド印刷では、「必要なものを、必要な時に、必要な部数だけ」印刷可能であり、品質もオフセット印刷に迫る仕上がりです。

自動調整機能を装備した折り機、製本機によりオリジナリティあふれた仕上がりが可能です。

デジタルコンテンツ

汎用性の高いデジタルデバイスの活用で、
より効果的なプロモーションへ。

コミュニケーション手段の多様化により、ターゲットに応じた情報発信が求められています。佐伯印刷では、デジタルデータの作成、加工、ネットワーク構築など多様な情報ツールを、お客様のニーズにあわせて企画からサービス提供まで展開しています。

紙媒体にこだわらず、お客様にとって最も効果的な情報発信をご提供いたします。

会社概要 corporate overview

経営の基本理念

われわれは常に印刷業の産業的・文化的役割の重要性を認識し
より高度な技術の研究に努め
誠意ある最高のサービスと能率増進に励み
産業文化の向上発展に寄与することを願っております

商　　号	佐伯印刷株式会社	従業員数	116名（2020年4月現在）
資本金	2,000万円	年間売上高	約13億円
設　　立	昭和16年10月1日	代　　表	代表取締役社長　平岩　照正

所在地		
	本　　社	〒870-0844 大分県大分市古国府1155-1 TEL 097-543-1211　FAX 097-554-4028
	クリエイティブ事業部	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-7 ドルミ御苑1002号 TEL 03-5368-4301　FAX 03-5368-4380
	サイキ･ディーエス福岡	〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾2-5-16 オネスティ平尾310 TEL 092-533-9234　FAX 092-533-9236
	佐伯営業所	〒876-0823 大分県佐伯市女島9032 TEL 0972-23-0170　FAX 0972-23-0171
	竹田営業所	〒878-0012 大分県竹田市大字竹田町574-1 TEL 0974-63-0085　FAX 0974-63-0090
	津久見営業所	〒879-2433 大分県津久見市中田町2-14 第一文具店2F TEL 0972-82-8028　FAX 0972-23-0171
	由布営業所	〒879-5425 大分県由布市庄内町渕2463 TEL 097-582-2010　FAX 097-582-2050

沿　革 history

昭和 16 年 10 月	佐伯市内 4 社の印刷業者が企業合同し、佐伯印刷有限会社として発足
昭和 22 年 4 月	大分市に進出、同市春日町に大分営業所を設置
昭和 25 年 12 月	大分工場の本格的運転を開始
昭和 46 年 3 月	大分新工場落成、旧工場より移転し本格的運転を開始
平成 2 年 7 月	企画部門を別会社として分離、株式会社マイダスコミュニケーションを設立
平成 3 年 4 月	東京都港区に東京営業所を開設
平成 4 年 8 月	第 2 工場新築落成
平成 7 年 9 月	福岡県福岡市に営業所を開設
平成 11 年 4 月	マルチメディア推進室を設置
平成 14 年 7 月	東京営業所を渋谷区千駄ヶ谷に移転
平成 16 年 5 月	デジタルソリューション事業部設立
平成 16 年 6 月	気象庁編「気象業務はいま 2004（準白書）」刊行（以後、白書を始め、中央省庁の刊行物を毎年受注）
平成 18 年 5 月	外務省編「外交青書」刊行
平成 18 年 12 月	Docu Color 8000 導入（オンデマンド・バリアブル印刷対応）
平成 19 年 1 月	ハイデルベルグオフセット 8 色機両面兼用機導入
平成 26 年 9 月	Color 1000 Press 導入（オンデマンド・バリアブル印刷対応）
平成 29 年 12 月	経済産業省より地域未来牽引企業に選定される

地域未来牽引企業

佐伯印刷は経済産業省より、地域経済牽引企業の担い手の候補となる
地域の中核企業として「地域未来牽引企業」に選定されました。
「地域未来牽引企業」は、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、
地域の事業者等に対する経済的波及効果を及ぼすことにより
地域の経済成長を力強く牽引する事業をさらに積極的に展開すること、
または今後取り組むことが期待される企業です。

2020.10

planning & coordinate

企画 & 原稿作成

企画・デザイン

情報を効果的に伝達するための企画とデザインを提供します

より効果的な情報伝達を実現するメディアミックス

お客さまにとってもっとも相応しい企画を追求すると、その情報伝達の手法（メディア）選択を避けては進めません。それぞれのメディアが持つ、長所と短所を十分に理解し、それらの組み合わせにより効果的な訴求を果たすこと。これが佐伯印刷のソリューションです。

ITソリューションを盛り込んだ企画提案

現代の企画提案にITの知識と技術は不可欠との信念から、それぞれの専門家が常に協議打合せを重ねながら最高品質の企画を生み出しています。

制作業務に直結したデザインワークフロー

デザインワークから印刷物やホームページなどの最終コンテンツまでの全てのプロセスを自社内で処理可能な総合力で、高品質の製品サービスをご提供します。

インバウンドプランニング

国ごとの興味関心に沿ったプランニング

外国人旅行者は様々な国や地域から来ていますが、日本全体で見ると中国が一番多く、続いて韓国・台湾となっておりアジアが全体の約80%以上を占めています。更に大分県では韓国が半分以上を占めており、都道府県によっても状況は異なります。
また、国ごとに文化、生活様式、宗教などの違いがあり、どの国をターゲットにするかで、どのようなプランを立てるかが大幅に変わってきます。
当社では様々なデータを活用し、論理的な解決方法をご提案するだけでなく、当社と提携している外国人スタッフから実際の意見を取り入れて、日本人観光客とは異なるニーズを的確に捉え、外国人観光客の興味に沿った記事や写真で効果的な訴求をサポートいたします。

POINT インバウンドとは

インバウンドとは主に観光業界におけるインバウンドを指し、「訪日外国人旅行者」という意味です。
インバウンドは現在急激な増加傾向にあり、非常に注目されています。
国もインバウンド需要を取り込んでいく姿勢をとっており、2020年に訪日外国人旅行者数を2015年の約2倍となる4,000万人にするとの目標を掲げています。
佐伯印刷はインバウンドをビジネスチャンスとして活かしていくお手伝いをいたします。

取材・原稿執筆

出張取材から座談会のテープおこしまで、あらゆる種類の原稿制作を行います

企　画	座談会の手配	取　材
録　音	インタビュー	テープおこし
リライト	読みやすくまとめる	

このような、いざとなるとどこに依頼したらよいのかわかりにくい業務は、全て佐伯印刷にお任せください。印刷物やデジタルコンテンツの品質を左右する確かな情報を収集し、高品質な製品サービスを提供いたします。

撮　影

より誌面を引き立たせる写真を撮影します。

用途に応じてもっともふさわしい撮影手法をご提案します。商品撮影等には、照明設備が整った撮影スタジオも自由にお使いいただけます。
当社のライブラリーには、大分県内の写真を中心に4,000点を超す写真が保管されており、県下随一のものとして出版社等からの利用申し込みにも対応しています。また、空撮写真やこれまでのカメラでは撮影できないような場所の写真は、ドローン撮影も行っています。

校　閲

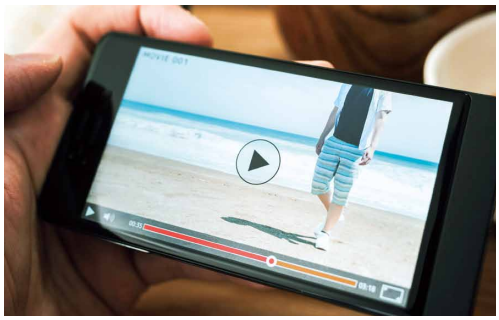
入力編集後の校正に対して実施される社内担当者による校閲

当社の校閲は、単なる原稿との照合ではなく一読者としての視点から素読みを行い、文法的な誤りはもとより言葉の表現は正しいか、一冊を通して統一感はあるかなども確認します。該当箇所は勝手に修正するのではなく校正紙に付箋等を付けることでお客様へのご提案として返却しますので、より高品質な原稿づくりに有効だとの高い評価をいただいています。

digital contents

デジタルコンテンツ

動　画



情報誌などの編集で培ったノウハウをもとに企画やシナリオ制作から撮影技術まで

綿密な取材編集手法が活かされるビジネス動画

ビジネス動画の制作ではチャートや図面などのクオリティがそのまま動画そのものの品質に大きく影響します。丁寧な撮影に加え、見やすい画面構成のために、きめ細かな編集作業を行います。

オーサリング機能を活かしたDVDパッケージ制作

単なる画像を集めただけのコンテンツになりがちなDVDパッケージ。オーサリング機能を活かしてこそ、大容量メディア利用の可能性が広がります。佐伯印刷は、マルチメディアコンテンツ制作の実績と経験の延長線上にDVDコンテンツを位置付けています。

デジタルサイネージ

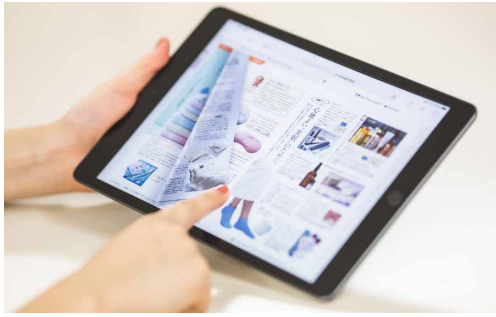
タイムリーかつ効果的な情報の提供を実現

屋外広告、店内広告、公共空間等のあらゆる場所で液晶・LED等各種ディスプレイを使って情報発信する電子看板を**「デジタルサイネージ」**と呼びます。ネットワークを使った情報発信により、

⑴ サーバ・一元管理による最新情報の管理・発信
⑵ ターゲットへのダイレクトな情報伝達

が可能になります。
デジタルサイネージは、タイムリーかつ効果的な情報の提供を実現します。佐伯印刷では、長年培われたデザイン制作技術を活かし、紙媒体では表現が難しい情報発信を行うだけではなく、紙媒体と相乗効果を生む**「デジタルサイネージ」**をご提案いたします。

電子カタログ



電子媒体の特長を活かし、高機能のカタログを提案します

電子カタログとは、紙媒体であるカタログをパソコン上で同様に読むことができるように電子化したものです。紙媒体のカタログの場合は対象となる商品を索引から探す作業に膨大な時間が必要でしたが、電子カタログの場合は検索機能を使い確認に要する時間を短縮することが可能になります。更に、予め商品情報に機能や価格等の属性を持たせることで、同様の機能・価格帯の商品を抜粋・一覧表示することもでき商品の比較検討も容易になる等、電子媒体ならではの特長が多くあります。
佐伯印刷では、紙媒体のカタログを長年制作してきた実績から、紙媒体の使い勝手を活かしつつ電子媒体ならではの機能を盛り込んだ、ページ企画構成、デザイン等に優れた電子カタログをご提案いたします。

Webコンテンツ

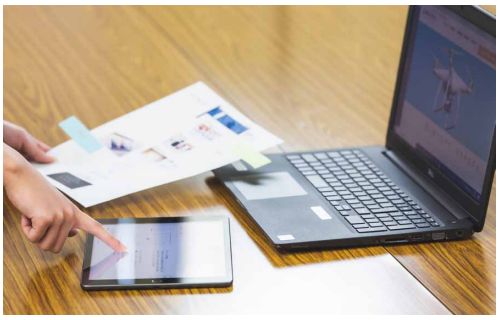
最新技術の採用と基本に忠実なコンテンツ制作

「ワンソース・マルチユース」が実現する メディアミックスの一環として

印刷で使用したDTPデータの直接的な展開活用が実現できます。複数メディアによる情報発信のイメージ統一だけでなく、データの転用によるコスト効果もあり、「ワンソース・マルチユース」の手軽な第一歩としてお薦めします。特に印刷を含めたあらゆるメディアに精通した企業ならではのノウハウを活かし、それぞれのメディアの特性を活かした表現のバリエーションをご提案します。

画面デザインと先進技術とのバランス

Webコンテンツの難しさは、デザインなど表現のあるべき理想形とインターネット環境、最新技術普及の度合いなど現実的な問題との絶妙なバランスなど常に注意を払わねばならない点です。
佐伯印刷は、技術に偏重することなく、コミュニケーション効果を最優先したコンテンツづくりに取り組んでいます。



AR（Augmented Reality）

印刷物にさらなる付加価値を

AR（Augmented Reality）とは、拡張現実という意味で、現実の風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示させることで、目の前にある世界を仮想的に拡張するというものです。
これにより、紙媒体だけでは伝わりにくかった情報を、より直感的に伝えることが可能になりました。当社が導入しているARアプリ「COCOAR2」では、ユーザーの閲覧履歴（アクセスログ）などが取得可能で、マーケティングの資料として活用可能です。その他、プッシュ通知機能を利用することで、一度ARを閲覧したユーザーに対して追加情報をダイレクトに送信することができます。

デジタルアーカイブ

さまざまな記録を確実に未来へ デジタルデータとして永久保存

音や文字、映像や写真など、媒体を選ばずに美しく永く保存する技術が当社のデジタルアーカイブです。
当社が長年積み上げてきた技術やノウハウで、あらゆるアナログ資産をデジタル化、永遠の価値を生み出します。

printing

印　刷

商業印刷物

会社案内、販促用パンフレット、チラシをはじめ、バリアブル印刷にも対応

お客様と十分に練り上げた企画とデザインをDTP上で多種多様のアプリケーションを使い表現をしていきます。見ていただく方により強いインパクトを与えるパンフレット、手軽に配布できるリーフレット。ある地域にスポット的に情報を発信するチラシ広告。近年はダイレクトメールとして個人個人に必要な異なった情報を発信するバリアブル印刷等にも対応をしています。

記念誌編集

文字中心の重厚な記念誌からデザイン処理を施したビジュアル重視の記念誌まで

会社、学校の周年記念誌や各市町村史など貢物といわれる半永久的に残る高級書籍を数多く手がけてきました。そのノウハウは活版の時代から引き継がれてきています。将来電子媒体などに代わる可能性はありますが、インクによって再現された文字や画像をも楽しむという書物としての存在も決して消え去ることはないでしょう。
最近は記念誌の仕様も変わり厚くて文字だけのものからビジュアル重視のデザイン的な冊子とする傾向が見られます。当社は単なる印刷にとどまらず、取材・原稿執筆・企画・デザインまでを総合的に対応する体制も完備しています。

要覧・広報誌

斬新さと正確さが生きる
中央省庁地方自治体・企業の広報誌と要覧

定期的に発行される各公的機関の広報誌を読みやすい、見やすいものとなるよう打ち合わせをしながら制作をしていきます。企業においては社内報を企画から受注、取材・撮影・原稿制作とすべての工程をお任せください。企業と社員、社員相互のコミュニケーションに貢献します。
要覧は１年間を通じた撮影・取材によって、市町村の考えや未来ビジョンなどあらゆる角度から魅力を最大限に表現します。

事務用印刷物

簡単な封筒や帳票類はもちろん、
コンピューターフォーム、OCR伝票にも対応

会社事務処理には欠かせない数々の伝票。１枚ものから複写もの、連続伝票とビジネスの形態にあわせて専用伝票を制作いたします。近年は機械で読み取らせるOCR等にも対応しています。

名簿編集

CTI設備を使った調査から印刷、発送まで

CTI設備を使った調査から印刷、発送まで個人情報意識への高まりから名簿の作成にはその必要性への検討と製作過程への十分な吟味が必要な時代となりました。
佐伯印刷は長年にわたるプライバシーマークの取得の経験から社内においても個人情報に関わる印刷物のための特別なチェックシステムを有しており、安心してご依頼いただけます。
また、過去のデータから自動的に電話発信し効率的な電話調査が可能となるCTI交換機をはじめ、名簿編集の基本となるデータベースパブリッシング技術など、名簿のための調査から印刷、発送までをトータルに対応します。

自費出版

編集作業から本の装丁まで、
ご要望に合わせて対応

デジタル時代の今だからこそ、形ある書籍の価値が分かるというもの。佐伯印刷では、長年の経験に裏打ちされた本づくりのノウハウを自費出版で活かそうと考えています。
一冊の本が完成するまでは、いろいろな過程を経ていかねばなりません。当社では、編集から製本まで幅広い専門知識を持つスタッフがお客様をサポート。自費出版だからこそ、こだわりたい。そのようなお客様の気持ちを大切にしています。

プラスティックカード

学生証・社員証（磁気付）など
写真付のIDカード制作

顔写真やバーコード、磁気、OMRなどさまざまなオプションで活用の場が広がります。
官公庁や大学などからのIDカードとしてはもちろん、短期的なイベント用の入門証としてなど、その用途はさまざまに広がっています。

カレンダー

一枚もの、枚数ものから卓上型まで
オリジナリティ溢れるカレンダー

お客様への感謝を込めたカレンダー、自社PRのためのカレンダー、健康カレンダー、カレンダー付マウスパッド。１枚ものから12枚ものや大判から卓上ものまで、いろいろな形態のカレンダーをその企画からご提案しています。

マーケティング

One-to-Oneマーケティング

一人ひとりへの強い訴求力と
高いレスポンスを目指して

マスマーケティングからOne-to-Oneマーケティングへ

従来、不特定多数に対して画一的なメッセージを伝える“マスマーケティング”と呼ばれる手法が一般的でした。しかし、今日では一人ひとりの顧客・消費者の趣向や属性に合わせて、個別にマーケティング活動を展開する“One-to-Oneマーケティング”が注目されています。レスポンスがあった顧客（見込み客）にDMを送るなど、一人ひとりに合わせた対応をすることで双方向の関係を築くことができ、効率的な営業展開が可能です。

郵便物トータル代行サービス

大量のDMや挨拶状などのデータ入力から、
発送、分析までトータルでサポート

プライバシーマークにも
適合している情報管理体制

データ入力・データ作成

お客様がお持ちの顧客情報からDM用データを作成いたします。データ作成は慣れていないと時間がかかるものです。時間の有効活用や、業務の効率化を目指すなら佐伯印刷にお任せください。

印字

宛名、バーコード、住所等、差し替えたい場所を可変印字いたします。

バルク作業・発送

郵便料金を減額させるバルク（郵便番号区分）作業を行います。郵便番号別に結束をすることによりお客様のコストを減らすことが可能です。

データ管理

個人情報セキュリティは企業にとって重要問題です。お客様からお預かりした大切な顧客情報を扱うため、セキュリティに配慮しながら作業を行います。

データクリーニング

投函したDMが住所不備などにより戻ってきた場合、マスタデータの修正を行い次回の投函でムダな経費がかからないようデータクリーニングをいたします。

分析

次回の企画でより効果の高いDMをご提案するため、レスポンスを集計し、分析いたします。

Web原稿管理システム

Web上での原稿入力や加筆・修正、さらに進捗管理が可能

Web上で公開された入力用画面をもとに、各々の原稿作成者が自分の職場から自由に原稿入力や加筆・修正を行います。また、原稿をまとめる管理担当者は、その進捗状況および最終原稿を随時に確認することが可能。校正の効率化に伴う納期短縮の他、制作管理システムの飛躍的な向上により、内容の高品質化が見込まれます。

想定されるフローイメージ

(1) 各原稿作成者と管理担当者用のパスワードを発行する
(2) 各原稿作成者が、自分のパスワードで入力用画面にアクセスし、原稿を入力する
→各原稿作成者から入力された内容がデータベース化される
(3) 管理担当者は、管理者パスワードで全原稿作成者の最終原稿を確認し、締め切る
(4) 最終データベースの内容を使って、自動組版システムにより編集を行う
(5) 必要により校正を行ったうえで、印刷製本を行う

データベース自動組版システム

自動組版・自動校閲機能を有するDBP（データベース・パブリッシング）と専門部署による人の目を使った校正・校閲を組み合わせた、佐伯印刷独自の編集技術です。この技術は、中央省庁にも高い評価を頂き、白書の受注にも繋がりました。
行政機関の報告書を始めとして、企業の事業報告書、IR関連印刷物など精度の高さが要求される資料の制作に力を発揮いたします。

他社との違い

県内唯一の高性能日本語組版機を使用した高度な組版技術
中央省庁の校閲テストをもクリアする校閲技術
紙以外の媒体にも展開できるマルチメディア技術

データベース自動組版システムの特長

システムによる機械的作業
DBP（データベース・パブリッシング）により人為的なミスを防ぎます

● **自動組版機能**
細かな編集ルールを必要とする組版に対し、人の手を介さず自動対応します。
また、自動化により人為的なミスの防止につながります。

● **自動校閲機能**
パソコン内部に搭載する「重要語」ファイルと原稿との比較チェックを行う自動校閲機能により万全の校正を行います。言語チェックだけではなく、同じ意味を持つ言葉について表記が異なる「表記ゆれ」、タイトル・見出し・本文等のフォントを統一する「フォント統一」も行います。

データベースパブリッシングとは

チラシのような限られた紙面では、文字量、情報量が比較的少ないため、校正も比較的容易に行われますが、頁数が数十頁、数百頁となる各種報告書、広報用冊子では、通常の校正に加えて、前部と後部で同じ意味を持つ言葉が同じ表記をしているかどうかの「表記ゆれ」の確認等の必要性も発生します。
このような、問題を解決するのが、データベースパブリッシング（DBP）です。
DBPは、自動組版機能と自動校閲機能の2つから成り立っています。
当社では、このDBPに、専属校閲者による校閲を加えた、「データベース自動組版システム」を開発し、高い評価を得ています。

POINT 校閲者による人的作業
最終的には人によるチェックを行い、万全の校正を目指します

プリント・オンデマンド（POD）サービス

必要な時に、必要な情報を

多品種・少ロット・短納期ニーズにお応えするため、佐伯印刷ではプリント・オンデマンド（POD）サービスを行っております。
オフセット印刷にも劣らないクオリティで多種多様な印刷・媒体ニーズにスピーディーに対応しています。
在庫や廃棄の問題を解消する「環境対策」、必要な印刷物を即日印刷し、いち早くお届けする「スピーディーな納品」など、全てを効率化するサービスです。

進化したPODによるドキュメント活用が販促効果をアップ

チラシやDMをたくさん配ってもなかなかお客様をつかまえられない、あるいは、いったんお客様との関係を結んでもその後が続かない…。ビジネスにとって「新規顧客の獲得」と獲得した顧客との「関係性の強化」はとても重要です。
しかしこれまでのやり方ではそれが難しいのも事実。今こそ新しい発想や技術を活かした販促活動が求められています。
PODは画質やスピードといったスペックはもちろん、活用や展開面でも著しい進化を果たしています。
佐伯印刷が提案する新たなマーケティング手法や、ソフトとの組み合わせによって生み出す成果物の「モノ」としての価値が、優れた販促効果を導き、さらには付加価値向上に大きく貢献します。

バリアブルプリント

バリアブルプリントの特長

日々、大量に届けられる販促物。簡単に捨てられてしまっては意味がありません。消費者一人ひとりに細やかな気遣いを感じさせること、驚きや感動を与えることが、今、販促ドキュメントを作るうえで重要な条件となっています。

POINT 1枚ごとに情報の一部、または全てを差し替えて印刷することが可能です。

WebやE-mailでは既に実現されている、One-to-Oneでのパーソナライズされた情報の発信を、紙メディアでも可能にします。

POINT 顧客データベースとリンクすることで、訴求力のあるダイレクトメール（DM）を作成できます。

顧客データからのターゲット抽出、発送のタイミング、開封アップのための戦略など、テクニカルなプランを作成すると同時に、お客様を確実につかむ、効果的なダイレクトメールの企画制作を行います。